

# 上田城復興400年

仙石忠政が築いた上田城と

400年後の新発見――

問	櫓復元推進室
上田城跡整備室	23・5416
生涯学習・文化財課	23・6362

今から400年前の江戸時代、上田城の歴史を現在までつなぎた人物がいました。その名は仙石忠政。関ヶ原の合戦後、跡形もなく失われた上田城を築き直し、今私たちが目にしている櫓や堀の大部分を造り上げたのです。

そんな上田城復興の立役者である仙石忠政とは、どんな人物だったのでしょうか。忠政が築いた上田城について、令和の最新の調査から分かった新発見などを紹介します。

## 仙石忠政ってどんな人?

1578 (天正6年) 仙石秀久の三男として誕生

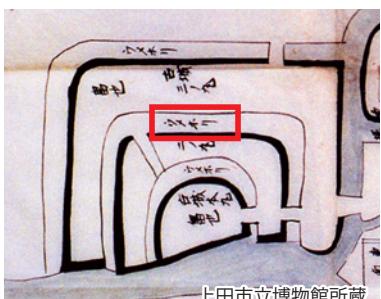
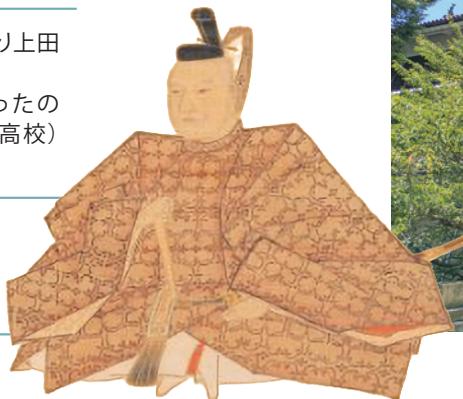
1590頃 (天正18年) 父、秀久が小諸城主に

1600 (慶長5年) 第二次上田合戦で、仙石氏は徳川軍の一員として上田城攻撃に参加  
その功績により、後の将軍、徳川秀忠から「忠」の字を拝領したと伝わる

1614 (慶長19年) 父、秀久没  
家督を継ぎ小諸藩主に

1622 (元和8年) 領地替えで真田信之に代わり上田藩主に  
上田城は破壊された後だったので、藩主屋形(現在の上田高校)で政治を行う

1626 (寛永3年) 幕府の許可を得て  
**上田城の復興工事を開始**



▲関ヶ原の合戦後の上田城を描いたとされる絵図に「ウメホリ」という文字が書かれている。

### 真田氏の上田城 その堀を埋めたのは 仙石忠政!?

関ヶ原の合戦後、徳川方の命令で上田城は跡形もなく壊されます。その作業に、近隣の小諸城にいた仙石氏が加わっていても不思議ではなく、後に復興する城を自らの手で壊していた可能性も考えられます。

エピソード 2

### 仙石家の家紋



えいらくつうほう  
永樂通宝は、仙石家の代表的な家紋で、織田信長から与えられたものと伝えられています。

エピソード 1



### 未完成の上田城

1628年に忠政は江戸で病死。上田城の復興はわずか2年で中断されます。二の丸の北側(現在の上田城跡北駐車場の近く)にある石垣のそばの地面には、建物の基礎にするために設置したと考えられる大きな礎石が残されています。実際に建物が建てられた記録はありませんが、忠政はこの場所にも建物を築いたかったことがうかがえます。

エピソード 3

# 400年後の 新発見と豆知識

## 仙石忠政の上田城はこんな城



### 豆知識 資料編

上田城築城覚書

上田城を築城する際に江戸にいた忠政が、上田の現場監督に24もの項目に分けて細かい指示を出した手紙が残っています。その指示の一つが「古城の堀のゆがみを直すこと」というもの。古城とは真田氏時代の城と想定され、一度は埋めてしまつたかつての堀を、再建の際に活用したことが読み解けます。



▲現在の本丸堀

### 新発見②発掘&建造物編

櫓の痕跡と建物の大きさ

北西隅にあった櫓の跡を発掘して、その基礎部分の大きさを確認したところ、現存する西櫓の大きさと一致しました。さらに、建造物の調査などから、江戸時代にあった7つの櫓は全て同じ大きさだったと考えられます。天守が無かった江戸時代の上田城ですが、本丸内に7つも同じ大きさの櫓を造ったことは大きな特徴です。



▲北西隅櫓を支えるための基礎の石

### 新発見①発掘編

新たな石垣の跡か!?

本丸西虎口(西櫓の北側)の発掘調査で、現在ある土塁の根元から石垣の痕跡が発見されました。かつてはここにも石垣があつた可能性が高いことが分かりました。



▲石垣があつたと考えられる場所



▲石垣を一番下で支える根石と思われる2つの石

2026年は、上田城復興400年を記念した企画を各種行います。みんなで上田城の復元整備を盛り上げていきましょう！



～最新情報はこちらから～

リニューアルしました！



市ホームページ  
ID:93618



公式X

### 上田城櫓の復元に向けた調査成果報告会

これまでの調査で判明した成果を報告します。

- 日時 3月7日(土) ①10:30~12:00 ②13:30~15:00  
受付は各回開始時間の30分前~
- 場所 ①市役所本庁舎5階 大会議室  
②上田城跡公園二の丸橋
- 申込 不要

### 上田城の資料を探しています

櫓や櫓門復元には根拠となる古写真・絵図などが必要なため、懸賞金制度を活用した資料収集を3月末まで実施しています。なお、復元調査は4月以降も継続することから、資料収集も引き続き行っていますので、情報提供をお願いします。